

IPEX2006 にみる印刷界の展望

2006年5月19日 CD 勉強会主催、国際印刷大学校共催（報告順）

- (1) 氏名 木下 堯博
(2) 渡英日数 7泊9日(2006年4月3日~11日)
(3) 目的 IPEX2006 と大学、博物館との交流
(4) 発表題目 The Information through International
Exhibition & Conference (part 5)-The View of Printing Industry-
(5) 要旨枚数 要旨WD3頁とPPT16頁(6コマ×16頁)
(6) 要約 IPEX2006 の Key Words は MDPW (More Digitalization、
Productivity、 Wide Format) とした。ANI Color Ink System (1 頁) に関し泉 和人
氏より説明があった。詳細は配布 OHP 1 6 頁 (約 9 5 コマ) をご覧下さい。

- (1) 氏名 神永 貴史
(2) 渡英日数 8泊10日(2006年4月4日~12日)
(3) 目的 IPEX2006 と新商品の発掘
(4) 発表題目 同上
(5) 要旨枚数 要旨3頁(サンプル提示)
(6) 要約 Ink Jet Plate やインキなど汚れ除去装置などの紹介

- (1) 氏名 竹原 悟
(2) 渡英日数 3泊5日(2006年4月6日~8日)
(3) 目的 JDF による MIS,CIM の進展状況
(4) 発表題目 同上
(5) 要旨枚数 要旨7頁(PPT)
(6) 要約 自社の CIM の 10 年計画が必要

- (1) 氏名 五百旗頭 忠男
(2) 渡英日数 8泊10日(2006年4月3日~12日)
(3) 目的 IPEX2006 とヨーロッパ印刷界
(4) 発表題目 同上
(5) 要旨枚数 要旨6頁(PPT)
(6) 要約 世界の印刷マーケットに注目すべきである。

各氏とも個人として IPEX2006 に参加、各専門分野を視察し、報告したものである。
なお、国際印刷大学校からは4名の客員教授が参加し、それぞれの目的を果たしました。